

関西外国語大学大学院 科目等履修生規程

(趣旨)

第1条 この規程（以下「本規程」という）は、関西外国語大学大学院学則（以下「学則」という）第63条第2項の規定にもとづき、科目等履修生に関し必要な事項を定める。

(受入時期)

第2条 科目等履修生の受入時期は学期始めとする。

(申請資格)

第3条 次の各号のいずれかに該当する者に申請資格を与える。

- (1) 学則第22条または第23条の規定に該当する者
 - (2) 本大学院学生と同等以上の学力があると認められる者
 - (3) 希望する授業科目を履修するに十分な学力があると認められる者
 - (4) 他大学院の学生等で大学間の協議にもとづき科目等履修生としての受入を希望する者。
- 2 教員免許状を取得しようとする者は、中学校教諭一種免許状（英語）または高等学校教諭一種免許状（英語）を有したうえで、科目等履修生としての受入期間中に学則第37条第3項に定める専修免許状を取得できる見込みの者。

(申請手続)

第4条 前条の申請資格を有する者で科目等履修生を志願する者は、別途公示する科目等履修生募集要項にもとづき、所定の申請期間に次の各号の書類および学則別表第3に定める受入検定料を添えて学長に願出しなければならない。

- (1) 科目等履修生受入申請書（所定様式）
- (2) 履歴書
- (3) 最終学校の卒業証明書および学業成績証明書（本大学院課程修了者、本大学院修了見込者は不要）
- (4) 推薦書（在職者の場合、推薦者は所属長であること）
- (5) 在職者の場合、在職証明書
- (6) 写 真

(選考)

第5条 前条の申請手続を行った者について、科目等履修生募集要項にもとづき選考を行う。

(登録手続および受入許可)

第6条 前条の選考による受入可否は学長が決定する。

- 2 受入決定の通知を受けた者は、所定の期日までに登録手続書類を提出するとともに学則別表第4に定める登録料および履修料を納入し、登録手続を完了しなければならない。
- 3 前項の登録手続を完了した者に学長が受入を許可する。
- 4 受入を許可された者には科目等履修生証を発行する。

(履修登録上限単位数)

第7条 1年間に履修できる総単位数は原則として20単位を限度とする。

2 履修の可否は大学院研究科長が個別に判定する。

(受入期間)

第8条 受入期間は原則として1年間を限度とする。ただし、学長が認めた場合に限り、所定の手続を経て、さらに1年間を限度として延長することができる。

(単位の付与)

第9条 履修科目において所定の成績を修めた場合に単位を付与する。

(証明書の発行)

第10条 科目等履修生には、請求にもとづき各種証明書を発行する。

(履修の辞退)

第11条 受入期間中に履修を辞退しようとする者は、事由を明記して学長に届け出なければならぬ。

(受入許可の取消)

第12条 次の各号のいずれかに該当する者は、学長が受入許可を取り消す。

- (1) 性行不良で改善の見込みがないと認められる者
- (2) 成績不良で成業の見込みがないと認められる者
- (3) 正当の事由なく出席が常でない者
- (4) 本学の秩序を乱し科目等履修生としての本分に反した者
- (5) 必要な費用の納入義務を怠った者

(適用除外)

第13条 第3条第1項第4号に定める大学間の協議にもとづく受入の場合は、第4条から第6条の規定は適用除外とし、学長が別途指示する。

(雑則)

第14条 本規程に定めるもののほか、必要な事項は学則および本大学院履修規程を準用する。

2 学内諸施設は許可を得て利用することができる。

(改廃)

第15条 本規程の改廃は理事会が行う。

附 則

本規程は、平成27年4月1日から施行する。